

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2019年11月25日まで（2014年11月20日設定）	
運用方針	米国株厳選投資戦略マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式等（預託証券（DR）を含みます。以下同じ。）に実質的な投資を行い、主として値上がり益の獲得をめざします。一部、米国以外の株式等に実質的な投資を行う場合があります。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	米国株厳選投資戦略マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン

愛称：USディスカバリー

第7期（決算日：2018年5月25日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン」は、去る5月25日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金分配	み金騰落	期中騰落率	ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み、円換算ベース)				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
3期(2016年5月25日)	9,059	0	△8.5	9,425.63	△8.6	86.3	—	9.1	7,530
4期(2016年11月25日)	9,877	0	9.0	10,759.84	14.2	92.3	—	2.4	7,090
5期(2017年5月25日)	10,179	100	4.1	11,163.85	3.8	86.6	—	6.5	4,733
6期(2017年11月27日)	10,622	500	9.3	11,821.48	5.9	87.7	—	8.2	2,476
7期(2018年5月25日)	10,314	250	△0.5	12,011.70	1.6	92.5	—	5.4	2,002

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み)は、米国企業株時価総額上位3,000銘柄のうち、相対的に低PBR(株価純資産倍率)で割安性が高く、一方で利益の予想成長性が比較的低い銘柄で構成された指数です。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出・利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。また、インデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) ラッセル3000バリューインデックス ( 配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
( 期 首 ) 2017年11月27日	円 10,622	% —	11,821.48	% —	% 87.7	% —	% 8.2
11月末	10,761	1.3	12,104.92	2.4	85.5	—	7.9
12月末	10,985	3.4	12,494.23	5.7	87.9	—	8.8
2018年1月末	10,746	1.2	12,428.38	5.1	87.7	—	9.0
2月末	10,203	△3.9	11,811.93	△0.1	90.6	—	6.8
3月末	10,157	△4.4	11,358.61	△3.9	92.5	—	5.5
4月末	10,600	△0.2	11,845.85	0.2	92.7	—	5.4
( 期 末 ) 2018年5月25日	10,564	△0.5	12,011.70	1.6	92.5	—	5.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

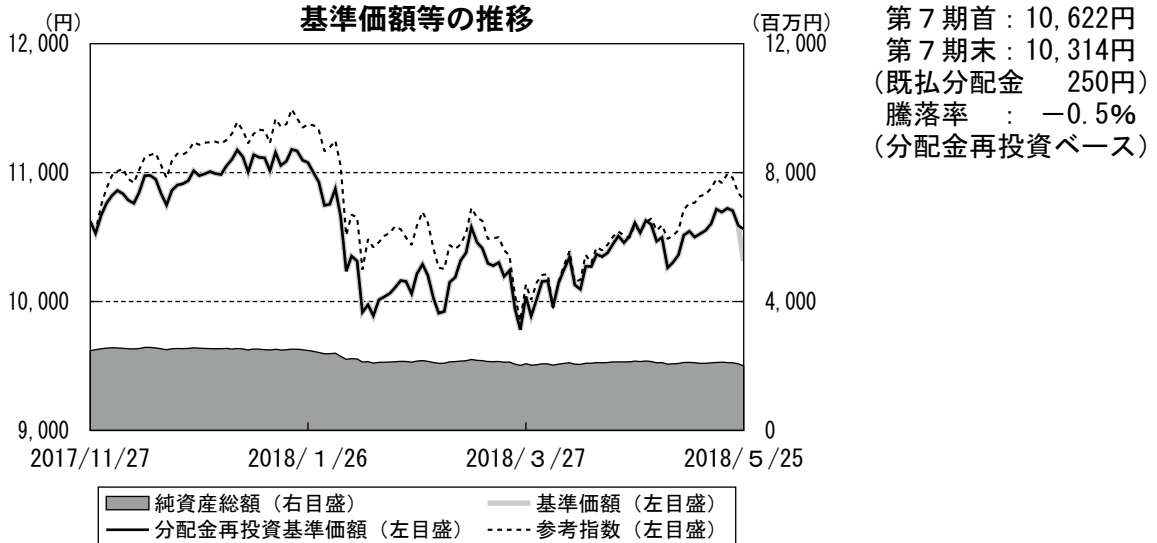
## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

(第7期：2017/11/28～2018/5/25)

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有銘柄の株価が上昇したことなどが、基準価額にプラスに寄与しました。
下落要因	為替市況で米ドルが対円で下落したことなどが、基準価額にマイナスに影響しました。

## 投資環境について

(第7期：2017/11/28～2018/5/25)

## ◎米国株式市況

- ・ 期初から2018年1月にかけては、国際通貨基金（IMF）による世界経済の成長率見通しが上方修正されたことや、米税制改革による企業業績の改善期待の高まりなどがプラス材料となり上昇したものの、2月から3月にかけては、米雇用統計における賃金の上昇を受け利上げペースの加速が懸念され、米国債利回りが上昇したことや、トランプ米大統領による保護主義的な通商政策により、米中貿易戦争を巡る緊張感が高まったことなどがマイナス材料となり下落しました。4月以降には、米中貿易摩擦問題において歩み寄りの姿勢が見られたことや、好調な米企業決算などがプラス材料となり上昇し、期を通じてみると上昇しました。

## ◎為替市況

- ・ 為替市況は、期首と比べて1.9%の円高・米ドル安となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

## &lt;三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン&gt;

- ・ 米国株厳選投資戦略マザーファンドへの投資を通じて、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等（不動産投資信託証券（REIT）を含む）を高位に組み入れる運用を行いました。信託報酬等のコストがマイナスとなり、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

## &lt;米国株厳選投資戦略マザーファンド&gt;

基準価額は期首に比べ0.4%の上昇となりました。

- ・ 長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等（REITを含む）への投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。
- ・ 組入銘柄数については、入れ替えなどを行い26～30銘柄とし、期末は26銘柄としました。安定した業績成長が期待できる生活必需品関連銘柄などへの投資を行いました。
- ・ 結果として、為替市況で米ドルが対円で下落したものの、組入銘柄の株価が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。
- ・ パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

（上昇要因）

## ◎銘柄

- ・ E\*TRADE FINANCIAL CORP（各種金融）：着実に顧客数を伸ばし取引手数料収入を拡大している点を評価し、投資を行いました。自社の売却を検討しているとの思惑などから、株価は上昇しました。
- ・ NOBLE ENERGY INC（エネルギー）：オペレーションの改善により採掘コストを抑え競争力を高めている点を評価し、投資を行いました。原油価格の高騰を背景に業績拡大が期待され、株価は上昇しました。

(下落要因)

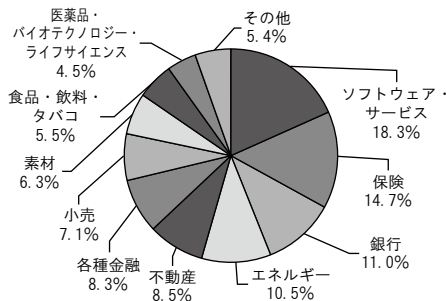
◎銘柄

- ・LKQ CORP (小売) : 修理用自動車部品の着実な需要により安定したキャッシュフローが見込めると判断し、投資を行いました。原材料費の高騰等により決算内容が失望されたことから、株価は下落しました。
- ・ESSENT GROUP LTD (銀行) : 米国住宅市場の活性化によりモーゲージ保険等の需要が増えていることから、投資を行いました。同業他社の軟調な決算内容を受けて連れ安となったため、株価は下落しました。

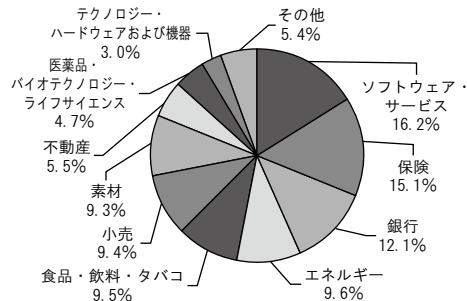
(ご参考)

組入上位10業種

期首 (2017年11月27日)



期末 (2018年5月25日)



(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。  
 (注) REITは不動産に含めて表示しています。

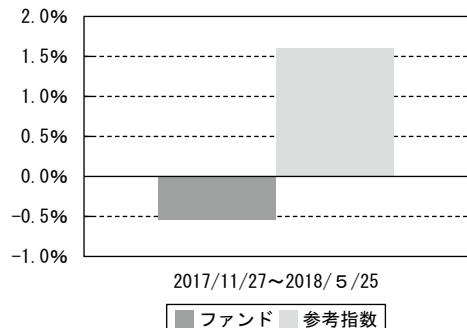
当該投資信託のベンチマークとの差異について



ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、ラッセル3000バリュートレック(配当込み、円換算ベース)です。

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第7期
	2017年11月28日～2018年5月25日
当期分配金	250
（対基準価額比率）	2.367%
当期の収益	—
当期の収益以外	250
翌期繰越分配対象額	406

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### <三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン>

#### ◎今後の運用方針

- ・マザーファンドへの投資を通じて、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等を高位に組み入れ、値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

### <米国株厳選投資戦略マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・南北首脳会談を経て北朝鮮を巡る地政学リスクへの懸念が後退し、決算発表も本格化し始めたことから、投資家の注目は個別企業のファンダメンタルズに移り始めています。こうした中、米長期金利が約4年振りに3%台に上昇しており、今後の金利動向や景気への影響には注意が必要と考えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き強固なバランスシートを保ち、優秀な経営陣の下で、事業構造の改革等を通じて企業価値を拡大できる企業に対し、選別的に投資を行う方針です。
- ・中長期的に業績改善が期待できるにもかかわらず、割安に放置されている銘柄の発掘を続ける方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月28日～2018年5月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	105	0.994	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	( 64 )	( 0.602 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 39 )	( 0.366 )	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	( 0.026 )	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	( 2 )	( 0.019 )	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	( 0.005 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 0 )	( 0.001 )	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	( 0.000 )	
(d) そ の 他 費 用	3	0.026	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 3 )	( 0.025 )	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	111	1.045	
期中の平均基準価額は、10,575円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2017年11月28日～2018年5月25日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
米国株厳選投資戦略マザーファンド	千口 40,565	千円 48,800	千口 444,760	千円 543,400

## ○株式売買比率

(2017年11月28日～2018年5月25日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	米国株厳選投資戦略マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,387,351千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,055,783千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.67

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年11月28日～2018年5月25日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン&gt;

該当事項はございません。

## &lt;米国株厳選投資戦略マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	48	—	—	537	18	3.4

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2018年5月25日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国株厳選投資戦略マザーファンド	千口 2,035,151	千口 1,630,956	千円 1,987,809

## ○投資信託財産の構成

(2018年5月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米国株厳選投資戦略マザーファンド	千円 1,987,809	% 94.9
コール・ローン等、その他	106,431	5.1
投資信託財産総額	2,094,240	100.0

(注) 米国株厳選投資戦略マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(1,969,067千円)の投資信託財産総額(1,999,584千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.58円			
-----------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,094,240,162
コール・ローン等	94,730,724
米国株厳選投資戦略マザーファンド(評価額)	1,987,809,438
未収入金	11,700,000
(B) 負債	92,196,940
未払収益分配金	48,527,053
未払解約金	20,774,597
未払信託報酬	22,857,869
未払利息	190
その他未払費用	37,231
(C) 純資産総額(A-B)	2,002,043,222
元本	1,941,082,159
次期繰越損益金	60,961,063
(D) 受益権総口数	1,941,082,159口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,314円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,330,937,443円  
 期中追加設定元本額 52,193,175円  
 期中一部解約元本額 442,048,459円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0314円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2017年11月28日～ 2018年5月25日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	21,508,491円
分配準備積立金額	105,920,242円
当ファンドの分配対象収益額	127,428,733円
1万口当たり収益分配対象額	656円
1万口当たり分配金額	250円
収益分配金金額	48,527,053円

- ③「米国株厳選投資戦略マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の90以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○損益の状況 (2017年11月28日～2018年5月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,259
受取利息	58
支払利息	△ 5,317
(B) 有価証券売買損益	11,620,690
売買益	24,527,609
売買損	△ 12,906,919
(C) 信託報酬等	△ 22,895,100
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 11,279,669
(E) 前期繰越損益金	105,920,242
(F) 追加信託差損益金	14,847,543
(配当等相当額)	( 21,507,046)
(売買損益相当額)	(△ 6,659,503)
(G) 計(D+E+F)	109,488,116
(H) 収益分配金	△ 48,527,053
次期繰越損益金(G+H)	60,961,063
追加信託差損益金	14,847,543
(配当等相当額)	( 21,508,491)
(売買損益相当額)	(△ 6,660,948)
分配準備積立金	57,393,189
繰越損益金	△ 11,279,669

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	250円
------------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2018年5月25日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)

(2018年1月1日)

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

# 米国株厳選投資戦略マザーファンド

## 《第7期》決算日2018年5月25日

〔計算期間：2017年11月28日～2018年5月25日〕

「米国株厳選投資戦略マザーファンド」は、5月25日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	米国の株式等を主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。一部、米国以外の株式等に投資を行う場合があります。株式等への投資にあたっては、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される企業の株式に厳選して投資を行います。株式等の運用にあたっては、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数） ラッセル3000バリュースコアインデックス （配当込み、円換算ベース）		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率	騰落率	騰落率				
3期(2016年5月25日)	9,483	△ 7.6	9,425.63	△ 8.6	86.4	—	9.1	7,516
4期(2016年11月25日)	10,450	10.2	10,759.84	14.2	92.5	—	2.4	7,076
5期(2017年5月25日)	10,989	5.2	11,163.85	3.8	87.6	—	6.5	4,677
6期(2017年11月27日)	12,139	10.5	11,821.48	5.9	87.9	—	8.2	2,470
7期(2018年5月25日)	12,188	0.4	12,011.70	1.6	93.2	—	5.4	1,987

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ラッセル3000バリュースコアインデックス（配当込み、円換算ベース）は、ラッセル3000バリュースコアインデックス（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリュースコアインデックス（配当込み）は、米国企業株時価総額上位3,000銘柄のうち、相対的に低PBR（株価純資産倍率）で割安性が高く、一方で利益の予想成長性が比較的低い銘柄で構成された指数です。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出・利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。また、インデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) ラッセル3000バリュエインデックス ( 配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2017年11月27日	円 12,139	% —	11,821.48	% —	% 87.9	% —	% 8.2
11月末	12,298	1.3	12,104.92	2.4	85.6	—	8.0
12月末	12,575	3.6	12,494.23	5.7	88.1	—	8.8
2018年1月末	12,324	1.5	12,428.38	5.1	87.9	—	9.0
2月末	11,718	△3.5	11,811.93	△0.1	90.8	—	6.8
3月末	11,685	△3.7	11,358.61	△3.9	92.7	—	5.5
4月末	12,215	0.6	11,845.85	0.2	92.9	—	5.4
(期 末) 2018年5月25日	12,188	0.4	12,011.70	1.6	93.2	—	5.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

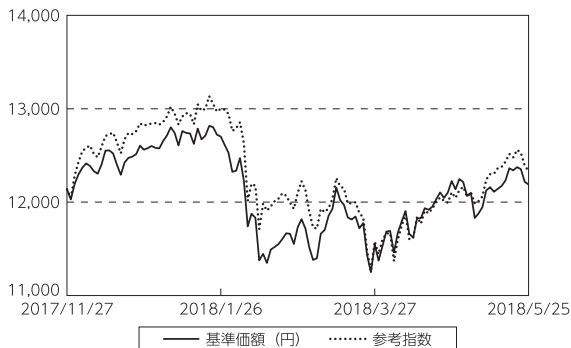
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎米国株式市況

・期初から2018年1月にかけては、国際通貨基金（IMF）による世界経済の成長率見通しが上方修正されたことや、米税制改革による企業業績の改善期待の高まりなどがプラス材料となり上昇したものの、2月から3月にかけては、米雇用統計における賃金の上昇を受け利上げペースの加速が懸念され、米国債利回りが上昇したことや、トランプ米大統領による保護主義的な通商政策により、米中貿易戦争を巡る緊張感が高まったことなどがマイナス材料となり下落しました。4月以降には、米中貿易摩擦問題において歩み寄りの姿勢が見られたことや、好調な米企業決算などがプラス材料となり上昇し、期を通じてみると上昇しました。

◎為替市況

・為替市況は、期首と比べて1.9%の円高・米ドル安となりました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等（REITを含む）への投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。
  - ・組入銘柄数については、入れ替えなどを行い26～30銘柄とし、期末は26銘柄としました。安定した業績成長が期待できる生活必需品関連銘柄などへの投資を行いました。
  - ・結果として、為替市況で米ドルが対円で下落したものの、組入銘柄の株価が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。
  - ・パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

（上昇要因）

#### ◎銘柄

- ・E\*TRADE FINANCIAL CORP（各種金融）：着実に顧客数を伸ばし取引手数料収入を拡大している点を評価し、投資を行いました。自社の売却を検討しているとの思惑などから、株価は上昇しました。
- ・NOBLE ENERGY INC（エネルギー）：オペレーションの改善により採掘コストを抑え競争力を高めている点を評価し、投資を行いました。原油価格の高騰を背景に業績拡大が期待され、株価は上昇しました。

（下落要因）

#### ◎銘柄

- ・LKQ CORP（小売）：修理用自動車部品の着実な需

要により安定したキャッシュフローが見込めると判断し、投資を行いました。原材料費の高騰等により決算内容が失望されたことから、株価は下落しました。

- ・ESSENT GROUP LTD（銀行）：米国住宅市場の活性化によりモーゲージ保険等の需要が増えていることから、投資を行いました。同業他社の軟調な決算内容を受けて連れ安となったため、株価は下落しました。

### ○今後の運用方針

#### ◎運用環境の見通し

- ・南北首脳会談を経て北朝鮮を巡る地政学リスクへの懸念が後退し、決算発表も本格化し始めたことから、投資家の注目は個別企業のファンダメンタルズに移り始めています。こうした中、米長期金利が約4年振りに3%台に上昇しており、今後の金利動向や景気への影響には注意が必要と考えています。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き強固なバランスシートを保ち、優秀な経営陣の下で、事業構造の改革等を通じて企業価値を拡大できる企業に対し、選別的に投資を行う方針です。
- ・中長期的に業績改善が期待できるにもかかわらず、割安に放置されている銘柄の発掘を続ける方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月28日～2018年5月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 3 (2) (1)	% 0.024 (0.019) (0.005)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	3 (3)	0.025 (0.025)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	6	0.050	
期中の平均基準価額は、12,135円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2017年11月28日～2018年5月25日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 1,047 ( 198)	千アメリカドル 4,791 ( -)	百株 1,857	千アメリカドル 7,886

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	EQUITY COMMONWEALTH	-	-	6	194
	MGM GROWTH PROPERTIES LLC-A	-	-	22	592
	INVITATION HOMES INC	18	436	18	399
小 計		18	436	47	1,186

(注) 金額は受渡代金。

## ○株式売買比率

(2017年11月28日～2018年5月25日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,387,351千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,055,783千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.67

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年11月28日～2018年5月25日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 48	百万円 -	% -	百万円 537	百万円 18	% 3.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2018年5月25日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
BALL CORP	177	192	738	80,938	素材
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	—	211	834	91,468	食品・飲料・タバコ
NOBLE ENERGY INC	288	203	745	81,713	エネルギー
PROGRESSIVE CORP	120	—	—	—	保険
RENAISSANCE HOLDINGS LTD	—	52	644	70,650	保険
SEALED AIR CORP	—	127	581	63,737	素材
COMERICA INC	86	81	801	87,872	銀行
VERINT SYSTEMS INC	197	160	693	75,944	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	6	7	833	91,348	ソフトウェア・サービス
EURONET WORLDWIDE INC	71	100	825	90,481	ソフトウェア・サービス
E*TRADE FINANCIAL CORP	208	82	535	58,687	各種金融
AETNA INC	11	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ALLSCRIPTS HEALTHCARE SOLUTI	486	341	431	47,235	ヘルスケア機器・サービス
ASSOCIATED BANC-CORP	306	261	722	79,140	銀行
BROWN & BROWN INC	249	328	919	100,806	保険
COMMVAULT SYSTEMS INC	160	34	239	26,204	ソフトウェア・サービス
LKQ CORP	188	230	694	76,050	小売
ENERGEN CORP	146	75	511	56,007	エネルギー
COMPASS MINERALS INTERNATION	92	52	347	38,084	素材
ALLERGAN PLC	54	54	838	91,935	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
POST HOLDINGS INC	148	114	872	95,589	食品・飲料・タバコ
FLEETCOR TECHNOLOGIES INC	47	15	307	33,705	ソフトウェア・サービス
ARAMARK	63	—	—	—	消費者サービス
FIRST HAWAIIAN INC	16	—	—	—	銀行
LIBERTY EXPEDIA HOLD-A	167	237	995	109,067	小売
KOSMOS ENERGY LTD	810	630	468	51,358	エネルギー
ATHENE HOLDING LTD-CLASS A	255	239	1,131	123,955	保険
ESSENT GROUP LTD	193	187	647	70,976	銀行
FEDERATED INVESTORS INC-CL B	264	—	—	—	各種金融
NCR CORPORATION	—	184	543	59,596	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
合 計	株 数	金 額			
	4,820	4,208	16,905	1,852,556	
銘 柄 数 < 比 率 >	26	25	—	< 93.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
EQUITY COMMONWEALTH	38	32	984	107,861	5.4
MGM GROWTH PROPERTIES LLC-A	22	—	—	—	—
合 計	口 数 ・ 金 額	60	984	107,861	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	< 5.4% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2018年5月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,852,556	% 92.6
投資証券	107,861	5.4
コール・ローン等、その他	39,167	2.0
投資信託財産総額	1,999,584	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,969,067千円) の投資信託財産総額 (1,999,584千円) に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.58円			
------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,999,584,626
コール・ローン等	30,784,944
株式(評価額)	1,852,556,753
投資証券(評価額)	107,861,785
未収入金	7,950,363
未収配当金	430,781
(B) 負債	11,700,061
未払解約金	11,700,000
未払利息	61
(C) 純資産総額(A-B)	1,987,884,565
元本	1,630,956,218
次期繰越損益金	356,928,347
(D) 受益権総口数	1,630,956,218口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,188円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,035,151,524円  
 期中追加設定元本額 40,565,254円  
 期中一部解約元本額 444,760,560円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2188円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 1,630,956,218円

## 【お 知 ら せ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)

## ○損益の状況 (2017年11月28日～2018年5月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	7,086,687
受取配当金	7,036,752
受取利息	56,356
支払利息	△ 6,421
(B) 有価証券売買損益	5,418,929
売買益	181,302,358
売買損	△175,883,429
(C) 保管費用等	△ 565,410
(D) 当期損益金(A+B+C)	11,940,206
(E) 前期繰越損益金	435,392,835
(F) 追加信託差損益金	8,234,746
(G) 解約差損益金	△ 98,639,440
(H) 計(D+E+F+G)	356,928,347
次期繰越損益金(H)	356,928,347

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。